

基本理念

私たちは、患者さんの人権を尊重し、
 地域に必要な基幹的中心的な医療を
 担当すると共に、さらに高次の医療に
 対応できるよう努力します。

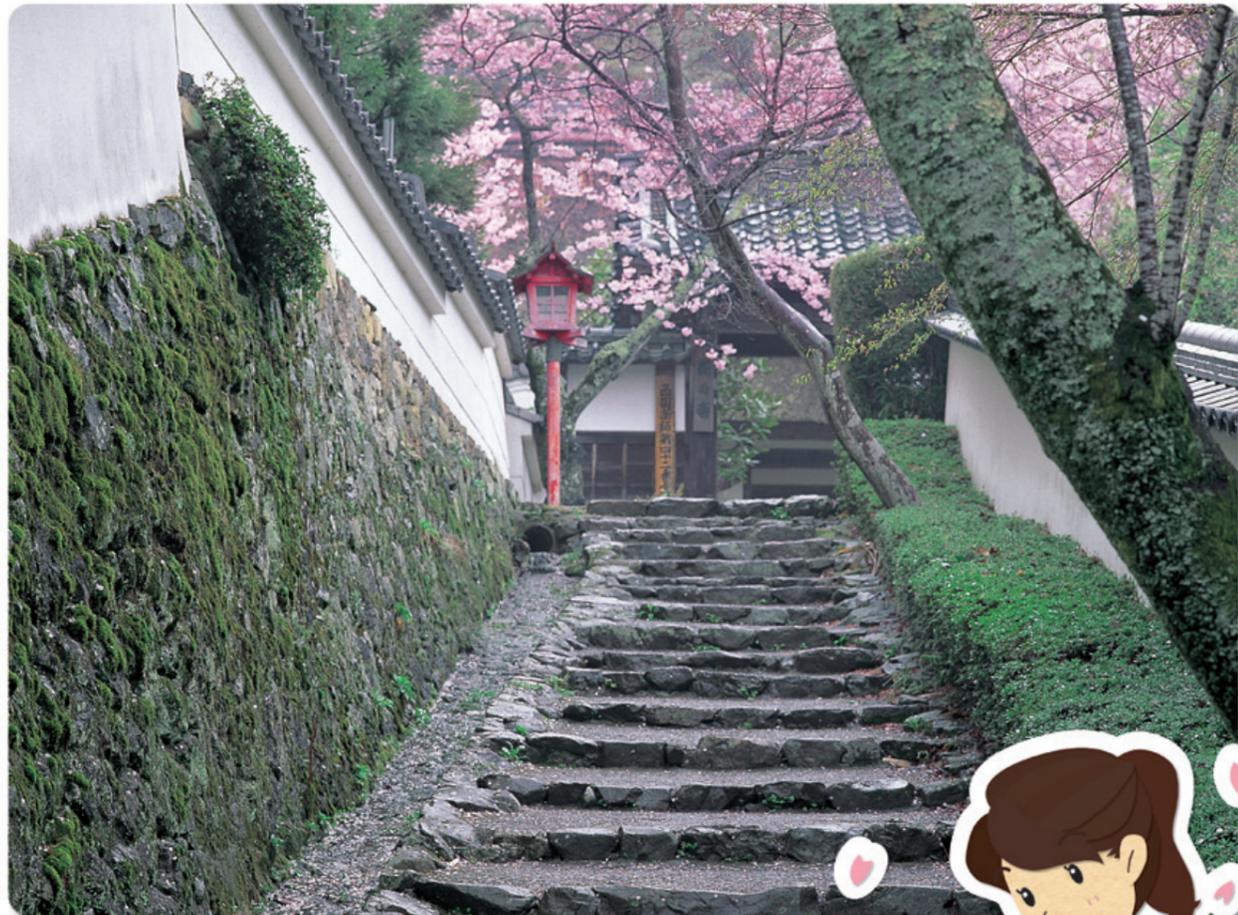
2015 Spring Vol.041

編集：広報委員会・広報課
 印刷：有限会社 アクト
 〒615-8256 京都市西京区山田平尾町17
 TEL075-391-5811(代)



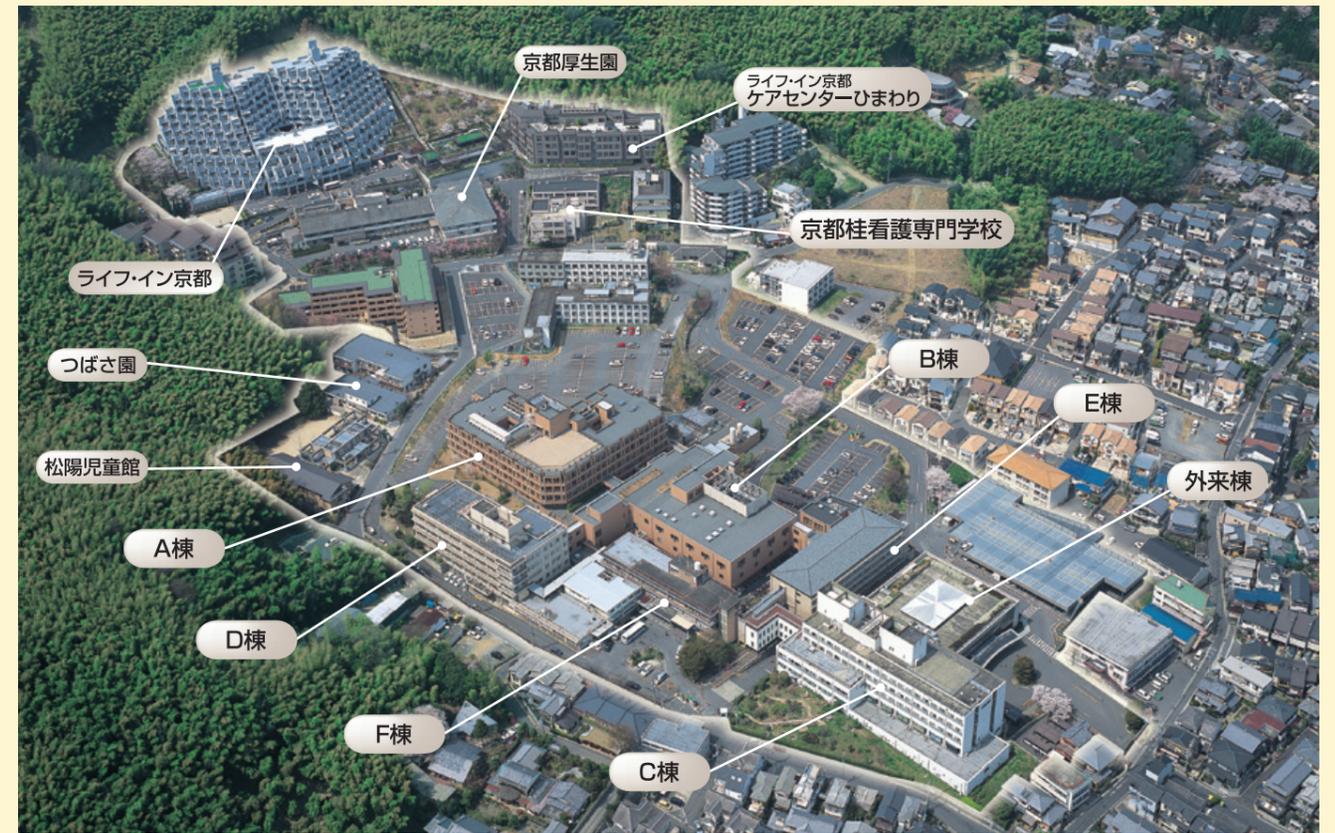
katsura
<http://www.katsura.com>

花の寺 (撮影 桐山豊三郎)



Index

ホスピタルインフォメーション 平成27年度を迎えて	2
専門医がお答えします - 第37回 地域の皆様のためにより充実した救急医療を	3
4月着任の医師紹介	4
ナースの広場 認定看護師による市民講演会を開催して	6
連携医ネットワーク	6
当院の医師・職員紹介	7



許可病床数

●585床 (一般525床：結核60床)

診療科目

- 一般内科 ●血液内科 ●脳神経内科 ●内分泌・糖尿病
- 腎臓内科 ●膠原病・リウマチ科
- 心臓血管センター (心臓血管内科・心臓血管外科)
- 消化器センター (消化器内科・外科) ●乳腺科
- 呼吸器センター (呼吸器内科・呼吸器外科)
- 整形外科 ●形成外科 ●泌尿器科 ●産婦人科 ●眼科
- 耳鼻咽喉科 ●脳神経外科 ●皮膚科 ●小児科
- 緩和ケア科 ●精神科 ●リハビリテーション科
- ペインクリニック科 ●放射線科 ●麻酔科 ●救急科
- 透析センター ●健康管理センター

●京都桂臨床医学研究所(臨床試験センター) ●保育所

併設施設

- 京都桂看護専門学校 (全日制3年課程)
- 訪問看護ステーション「桂」

関連施設

- | | |
|--------|--------------|
| ●西陣病院 | ●にしがも透析クリニック |
| ●京都厚生園 | ●京都桂川園 |
| ●北野保育園 | ●二条保育園 |
| ●つばさ園 | ●松陽児童館 |
| | ●にしがも舟山庵 |
| | ●昭和保育園 |
| | ●ライフ・イン京都 |



交通のご案内

- 市バス** ▶ 73系統 (京都駅～洛西バスターミナル) [千代原口]下車、徒歩約10分
 29系統 (四條烏丸～洛西バスターミナル)
 69系統 (二条駅西口～阪急桂駅東口)
- 京阪京都交通バス** ▶ 21、27系統 (京都駅～桂坂中央) [千代原口]下車、徒歩約10分
- 阪急電鉄** ▶ 京都線「桂駅」下車(西口)西へ約1.7km
- 病院専用送迎バス** ▶ 阪急桂駅からは送迎バスを無料でご利用いただけます。(約15分)
- 阪急桂駅西口の送迎バスのりばは、上記地図を参照してください。



社会福祉法人 京都社会事業財団
京都桂病院
<http://www.katsura.com>

平成27年度を迎えて



院長 野口 雅滋

病院に来る人は皆何かしら不安を抱えておられます。最近頭が痛いけど、何か大きな病気の前触れじゃないだろうか。胸にしこりがあるみたいだろうか。悪い病気じゃないだろうか。その不安を解消するため、出来るだけ早く診断を付け、必要であれば早期に適切な治療につなげることが病院の大切な役割です。その中でも、救急で外来に来られる方の不安は特に大きなものです。急にお腹が痛くなったけど、緊急手術が必要な病気じゃないだろうか。急に胸が痛くなったけど、心筋梗塞で心臓が止まるんじゃないだろうか。患者さん本人も、患者さんに付き添って来た方もとてもゆっくりに診察を待つていられないほど不安でいっぱいです。救急受診の人々に直ぐに対応し、

出来るだけ早く診断をつけて治療につなげていくシステムを構築するため、平成27年度の行動方針は「**救急医療の充実**」になりました。

平日の昼間は医師を含む多くのスタッフが勤務しています。が、夜間・休日の救急診療体制はどうしても手薄になります。現在、京都桂病院では毎日7名の医師と3名の看護師、5名のメディカルスタッフと合計15名の職員が病院に泊まって救急診療にあたっています。診察の相談や、いざという時のための待機体制も、毎日、医師12名、それ以外のスタッフ7名であたっています。しかし、地域から信頼されるような救急診療の受け入れ体制が出来ていたわけではありませんでした。少しでも地域住民の方々や診療所の先

生方から信頼される救急医療を提供すべく、4月1日から救急科を立ち上げました。経験豊富な救急専門医が着任し、今までの体制が効率的に機能するようリーダーシップを取って救急診療にあたります。救急の時には京都桂病院に行けば安心と地域から信頼される救急診療体制を構築していきます。

広い意味では、災害時の医療も救急医療です。大規模災害や多くの傷病者が発生した事故などの現場に医療チームを派遣することも救急医療の充実と考えています。新任の救急専門医を中心に災害派遣医療チームの設立も目指します。

昨年の行動方針は「超高齢社会への対応」でしたが、高齢の方々や安心して、今お住

まいの場で生活し続けられるためにも、救急医療の果たす役割は重要です。本来に必要な時には適切な医療を受けることができるから安心と思ってもらえるような救急医療を充実していきます。

今年度も一年間、宜しくお願いいたします。



ホスピタルインフォメーション

専門医がお答えします
第37回

地域の皆様のために より充実した救急医療を



救急科 救急初療室 長 寺 坂 勇 亮

今年度より京都桂病院の救急科に着任しました寺坂と申します。当院に着任前は、地域で最も救急医療を提供している「断らない救急」をモットーとし、年間6500台以上の救急車搬入、年間25000人以上の救急患者受診数の病院で、救急科と外科を兼任しながら救急初療室室長として勤務しておりました。重症多発外傷・急性腹症の緊急手術、来院時心肺停止状態・急性薬物中毒等の救命行為、小児の風邪症状・高齢者の食思不振等の多岐に渡る患者さんの救急対応、救急隊と連携したドクターカーによる現場出動、病院全体の災害医療対策等に従事してきました。

京都桂病院は、「私たちは、患者さんの人権を尊重し、地域に必要な基幹的中心的な医療を担当すると共に、さらに高次の医療に対応できるよう努力します。」を基本的理念として、地域にとって必要な医療を提供するために努めております。私も、京都桂病院の理念・使命を全う

できるように、これから更なる救急医療の充実を図ること地域・患者さんに少しでも貢献できるように努めてまいりたいと思います。そのために、「地域との連携、専門科・他職種との連携、研修医教育」をキーワードとして以下のことを行っていく予定です。

地域との連携

まずは、「地域との連携」として、今まで以上に地域の医療機関との関係を強化していき、救急対応の必要な患者さんを円滑に受け入れながら、診療情報を相互に積極的にを行うことで、地域単位での包括的な診療を充実させていきたいと思えます。また、救急隊と事例検討会による学習会等で顔の見える関係を構築することで、病院前救護から滞りの無い連携を図っていきます。

専門医・他職種との連携

次いで、「専門医・他職種との連携」として、救急初療や緊急入院に関わる各科専門医および他職種との関係を強化していき、救急現場での診療の効率化・質の向上を図ることで、地域の救急医療のニーズに更に対応できるように体制を整えていきます。

研修医教育

最後に、「研修医教育」です。私は「臨床研修医は地域の宝である」と考えておりまして、臨床研修医は将来の地域の医療に貢献する貴重な存在です。地域の皆さんや職員と力を合わせながら、救急医療に限らない「医師」としてのプロフェッショナルリズムを含めた基本的臨床能力に関わる研修医教育に積極的に関わっていくことで、将来の地域医療に貢献していきます。

以上のように、私が考えている救急医療は、多くの人達との関わりが必要不可欠です。皆さんと一緒に継続して質の高い救急医療を提供できるように精一杯頑張りますのでどうぞ宜しくお願いいたします。



4月着任の 医師紹介



新入医師の皆さんです。
よろしくお願いします。



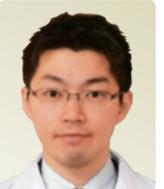
心血管センター
心血管内科
医師
いとう ゆうた
伊藤 雄太

はじめまして。今年度より心血管センター内科勤務となります伊藤雄太です。まだ不慣れな点が多いと思いますが、皆様に貢献できるよう精一杯頑張ります。



消化器センター
外科
医師
かわくち きよたか
川口 清貴

精一杯頑張りますので、よろしくお願い致します。



消化器センター
外科
医師
あん ひでお
安 英男

四月から着任いたしました、消化器センター・外科 安 英男です。地域の皆様に貢献できるように、頑張っていきたいと思っております。よろしくお願い致します。



血液内科
医師（部長）
いしばし たかふみ
石橋 孝文

前任地の静岡県と同様に、乙訓医療圏の血液内科診療も厳しい状況のようです。標準的で良質な医療を提供できるように努めてまいります。



呼吸器センター
呼吸器内科
医師
つねいし てっぺい
恒石 鉄兵

前の病院では救急を中心に修業しておりました。今年度からは呼吸器内科でさらなる修業を積ませて頂きたいと思っております。まだまだ駆け出しですがどうぞよろしくお願い致します。



病理診断科
医師
ふるかわ あつゆき
古川 敦行

私、4月1日から病理診断科に赴任致しました、古川敦行（あつゆき）と申します。皆様のお力になれるよう精一杯努めさせていただきます。どうぞよろしくお願い致します。



麻酔科
医師
はまい ゆうすけ
濱井 優輔

麻酔科専攻医3年目の濱井と申します。この春より京都桂病院でお世話になります。まだまだ至らない点も多いですが精一杯取り組んで参りますので、よろしくお願い申し上げます。



膠原病・リウマチ科
医師（医長）
やまかわ のりゆき
山川 範之

4月より京都大学から参りました山川です。三崎部長との二人体制で洛西地域の膠原病・リウマチの患者さんのお役に立てるよう診療に携りますのでよろしくお願い致します。



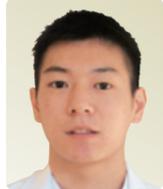
腎臓内科
医師（部長）
みやた ひとみ
宮田 仁美

腎臓は70%以上の機能が低下しないと症状が現れない沈黙の臓器です。血尿・たんぱく尿・腎機能障害を指摘された方に、気軽にご相談いただけるようにしたいと思います。



小児科
医師（部長）
さわだ まちこ
澤田真智子

滋賀県の高島市民病院から着任致しました。未来を担う子ども達に関われることは大きな喜びです。子ども達の健やかな育ちを支えるよう努めますのでよろしくお願い致します。



呼吸器センター
呼吸器内科
医師
かわい たかひろ
川井 隆広

メディカルスタッフの方々と協力して、患者さんそれぞれに合った最適な医療を提供できるように、日々努力していこうと思っております。どうぞよろしくお願い致します。



腎臓内科
医師
さいと かずのり
迫田 和典

腎臓内科医として赴任しました、専攻医1年目の迫田和典です。徳島大学を卒業後、社会保険京都病院で初期研修をしました。まだまだ未熟ですが精一杯頑張ります。



皮膚科
医師
おおたけ ひかり
大竹ひかり

はじめまして。この度皮膚科でお世話になります。まだまだ未熟者ではありますが精一杯頑張りますのでよろしくお願い致します。



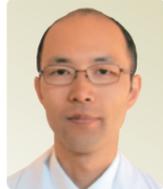
腎臓内科
医師（副医長）
やまぢ しゅうへい
山地 秀平

平成27年4月より腎臓内科で勤務させていただきます山地秀平と申します。慢性腎臓病・腎炎等を診療させていただきます。何でも気軽に相談して下さい。よろしくお願い致します。



消化器センター
消化器内科
医師（副医長）
たなか やすゆき
田中 泰敬

よろしくお願い致します。



産婦人科
医師（副医長）
にしむら ふみとむ
西村 史朋

はじめまして。前任地では女性漢方外来を担当していました。皆様のごころと身体が健やかであることのお手伝いをさせていただきます。お気軽にご相談ください。



整形外科
医師
いの の ひろまさ
農野 啓正

都会から離れ自然に囲まれた環境に癒されつつ患者様に信頼される整形外科医になれるよう精一杯がんばります。どうぞよろしくお願い申し上げます。



消化器センター
外科
医師
にしかわ やすよ
西川 泰代

患者さんのお力になれるよう精一杯努力していきたいと思っております。よろしくお願い致します。



脳神経内科
医師
とだしんたろう
戸田真太郎

4月から京都桂病院の脳神経内科に所属することになりました戸田です。患者さんからますます信頼されるよう、安心して受診できる脳神経内科を目指して頑張ります。



小児科
医師（副医長）
よしおか こうへい
吉岡 耕平

4月より小児科に着任いたしました。こどもたちの様々な問題に真摯に向き合い、こどもたちが成長するお手伝いができれば、嬉しく思います。よろしくお願い致します。



形成外科
医師（副医長）
おだき ゆみこ
小田祐美子

患者さん一人ひとりの立場や状況などを考えながら診療を進めていきたいと思っています。よろしくお願い致します。



消化器センター
消化器内科
医師（副医長）
くすもと きよのり
楠本 聖典

4年ぶりに桂にもどってきました。また、よろしくお願い致します。

